



## ～鎌倉生まれ・鎌倉育ちのお菓子「鳩サブレ」に採用～ 豊島屋と共同で環境に配慮した「紙パッケージ」を開発

日本製紙株式会社(代表取締役社長:野沢 徹、以下「当社」)は、株式会社豊島屋(代表取締役社長:久保田 陽彦、以下「豊島屋」)と共同で紙パッケージとパルプモールドを開発し、豊島屋が販売するお菓子「鳩サブレ」の新パッケージに10月から順次採用されます。

豊島屋は、「すべての人が笑顔になるために・・・」との理念のもと、鎌倉を中心に神奈川県・東京都内などで展開している老舗のお菓子メーカーです。環境や社会に配慮する取り組みにも力を入れており、紙パッケージで使い捨てプラスチック使用量を削減します。

ピロー包装、緩衝材、仕切りトレーを全て紙化し、使い捨てプラスチック使用量を年間約100トン※削減することになります。(※想定値)

### <パッケージの特徴>

紙箱(外装): 当社「JETスターF\*」を使用し、マイクロシン加工を施した再封機構付きです。

ピロー包装(外装)・緩衝材: 当社「白銀F\*」を使用した包材です。

中敷きトレー: 紙箱と缶容器で使う仕切りトレーは植物由来のバガス素材のパルプモールドです。

\* FSC®認証紙を使用した紙のパッケージです。※ FSC®ライセンス No. FSC®C001751



(写真提供: 豊島屋)

本件に関するお問い合わせ  
日本製紙株式会社 白板・包装用紙営業本部  
容器・パッケージ部長 山本 宏  
(TEL 03- 6665- 5652)

以上